

一般質問



市長 増える要求、減る予算の中で、官民挙げての協働のまちづくりの体制をつくる部分に集中していきたいと考えます。

質問 政治をはじめ人材不足が各方面でいわれています。その大きな原因の一つに、答えが一つしかない知識偏重の教育、特に大学入試のあり方にあると思います。海外の高校、大学に入学させ海外に人脈をつくり、国際人を育てるような教育をめざす考え方について伺います。

市長 海外の高校、大学に直接入学すること等興味がありますので、今後大いに議論したいと思います。

○市の3スキー場経営について
○子育て、老後安心の奥州市づくりについて



うちだ かずよし
内田 和良

質問 全国的にスキー場の閉鎖が続いています。市営の3スキー場は大丈夫かとスキーを愛する多くの市民が心配しています。3場の経営状況と今後の姿勢を伺います。



国見平スキー場を望む

市長 昨年度、3スキー場合計で4478万円の赤字となりました。これとは別途にリフト等老朽化施設の整備に高額の予算を必要とし

ていますが、このことをもって拙速に結論を出すべきではなく、これまで果たしてきた効果を勘案し、維持するよう検討します。

質問 20年後の奥州市が、奥州市だから子育てしやすい、終の棲家としたいと全国から人が集まる「子育てしやすい、老人が住みやすい文化の薫り高いベッドタウン」としての15万、20万人都市ともなることを願います。そういった未来都市づくりの夢を持ち、それを内外にしっかりアピールする姿勢があるかが、未来の奥州市を決すると考えます。考え方と取り組みを伺います。

市長 「住んでよかったまちづくり」が私の重要なスタンスです。内田議員が9月議会で提案された「子どもと老人の居場所づくり」もその一環として今進めています。また保育費の軽減、小学生医療費2分の1補助等、他市に優れた多くの事業が実施されています。今後一層、これを進め、ホームベージュや新聞等で内外にPRもしてまいります。

○生ゴミの再利用について
○携帯電話の再利用について
○生態系を含めた景観保全について
○環境教育について



いざか かずや
飯坂 一也

質問 生ゴミは有機肥料に再利用されます。一部の家庭では再利用していますが、ほとんどは焼却されている現状です。安心安全な食料をできるだけ生産していければと考えます。地産地消や地域で支える農業の仕組みづくりにもつながります。その取り組みを伺います。

市長 生ゴミについては減量化を基本方針としています。生ゴミ処理器の費用の一部負担の継続を含め、一層の減量化の啓発をしてまいります。事業所については、検討が必要です。

質問 レアメタルの安定した確保が求められる中で、都市鉱山が注目されています。「たんす携帯電話」の回収に取り組みべきと考えますが伺います。

市長 都市鉱山の問題は、重要と考えております。まず周知をしていきたいと考えます。